



かわもと小だより

令和8年1月27日(火) 文責：校長 星野 明洋

川本小の教育

ふるさとを原点に 豊かに学び たくましく育つ子どもの育成

自らすすんで学ぶ子

仲間・他者とかわる子

たくましく生きる子

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2026年(令和8年)を迎えました。今年は2日に降雪、6日には島根県東部を震源とする地震がありました。最大震度5強(川本町は震度4)という大きな揺れに、心配する日々でした。そんな中、3学期となり、1月8日(木)に子どもたちは元気に登校してきました。職員には、「子どもたちは新たな気持ちで登校してきます。私たち職員は、その『思い』を真摯に受け止め、子どもたちの『やる気』をさらに伸ばせるよう温かく迎えましょう。」と伝え、3学期をスタートさせました。

さて、3学期は「次年度へのステップの学期」です。始業式で、子どもたちには、「①挑戦し続けること」「②仲間を大切にすること」「③ありのままに自己を見つめること」の3つについて話しました。3学期は登校日が50日と短いですが、この3つを意識し、よりよく生活してほしいと思います。

そして、子どもたち一人一人が進学・進級に向けて、もっと成長するために日々の指導・支援に一層力を入れていきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様にも、これまでと同様に川本小学校の教育活動に際し、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

学び合い～訪問指導を受けました

1月20日(火)に、川本町の教育施策の一つである「学び合い」について訪問指導を受けました。今年度は3回目となり、九州学びの会の代表である藤木文博先生に講師として来ていただきました。

3・4校時に全学級を少しずつ、5校時に1年生の生活科を見ていただきました。授業後に、藤木先生からコメントをいただきました。

どの教室でも感じられたのは、子どもたちがとても素直に反応し、問いや働きかけに対して自分なりに関わろうとする姿です。教師の声かけや教材に対して、まず「受け取ろう」とする子どもたちの姿勢は、この学校の大きな財産だと感じました。

今後、学びの共同体の考え方に基づいた授業が継続して積み重ねられていけば、子どもたちの学びはさらに大きく広がっていく可能性があると感じています。問いに向かう力、考えを言葉にする力、友達とつながりながら学ぶ力には、確かな伸び代があります。

一方で、子ども同士が互いを支え合いながら考えを深めていく環境が、まだ安定して見られない教室もありました。「子どもが安心して考えを出す」「分からないことを分からないと言える」「友達の考えを手がかりに、自分の考えをつくり直す」ための、大切な学びの土台です。この学習環境が整っていくことで、子どもたちの学びの質は大きく変わっていくと考えています。

子どもたちの姿を見取っていただき、私たちの実践に対する成果と課題を示唆していただきました。これからも学校は真摯に授業づくりに取り組んでいきたいと思えます。また、ご家庭や地域でも、子どもたちが学びに向かうためにご支援いただきたいと思えます。学校・家庭・地域が連携し、子どもたちがよりよく学べるようにしたいものです。

2月の主な行事について

2月の主な行事についてお知らせします。

2日(月) 振替休業日	19日(木) 保育所交流(新1年生を迎える会)
5日(木) 川本町探究フェスタ(6年生参加)	23日(月) 天皇誕生日
6日(金) 川本中 新入生説明会(6年生参加)	27日(金) 授業公開日・学級懇談会
11日(水) 建国記念の日	
17日(火) なわとび集会	